

【健康経営戦略マップ】

作成年：2026年7月

健康経営 推進方針

社員の健康保持増進を重要な経営課題とし、社員が安心して活き活きと働ける環境を構築します。

「ちょうどいい」働き方と「もったいいい」健康状態を実現し、お客様が喜び、社員が輝き、会社も成長する未来を創造していくことを目指します。

健康投資

健康推進の体制整備

- ・産業看護職の常勤配置
- ・健康管理システム、アプリの導入
- ・全店健康経営推進担当者の配置

重症化予防対策

- ・看護職による二次健診受診勧奨
- ・産業医、看護職による保健指導

リテラシー向上・環境整備

- ・健康に関する教育研修の実施
- ・健康イベントの実施
- ・両立支援制度の整備
- ・コミュニケーションツールの導入

従業員の健康課題

- ・生活習慣病リスク者の増加
- ・高ストレス者への対応
- ・長時間労働の抑制

健康投資の効果

健康投資施策の取組み
状況に関する指標

- 定期健診受診率
特定保健指導実施率
保健指導実施率
ストレスチェック受検率
アプリ登録率
健康イベント参加率
研修・e-ラーニング受講率
相談窓口認知率

従業員等の意識変容・
行動変容に関する指標

- 運動習慣者率
睡眠習慣者率
喫煙率
二次健診受診率
生活習慣病リスク保有率
有給休暇取得率
育児・介護制度利用率
高ストレス者率
長時間労働者率

健康関連の最終的な目標指標

- アブセンティズム
- プレゼンティズム
- ワークエンゲイジメント
- 平均勤続年数

健康経営の浸透状況

方針実現のための
体制・環境

- ・保険者との連携や協議
- ・健康経営優良法人認定の有無

サポート、組織的支援
(POS)、WSC等

- 上長/同僚の支援の得点
(ストレスチェック結果より)

健康風土の醸成

目標年：2028年

KGI

アブセンティズム
3%未満

平均勤続年数
15年

健康経営 の目標

従業員一人ひとりが主体的に健康管理に取り組み、心身ともに充実した状態で働くことで、組織全体の活性化につなげる。